

Press Release

2025 年 7 月 30 日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.com/jp

EL25-28

日本イーライリリー

GLP-1受容体作動薬「トルリシティ®皮下注1.5mg アテオス®」新発売

～2型糖尿病治療の血糖管理における患者ニーズにこたえるため、
新たに高用量製剤という治療選択肢を提供～

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)は、本日、週1回投与の2型糖尿病治療薬であるグルカゴン様ペプチド-1(GLP-1)受容体作動薬「トルリシティ®皮下注1.5mg アテオス®」(一般名:デュラグルチド(遺伝子組換え))を新発売いたしました。本剤は、2015年の発売以来、世界中でご使用いただいている「トルリシティ®皮下注0.75mgアテオス®(以下、トルリシティ0.75mg)」に加え、さらなる血糖管理を必要とする2型糖尿病のある人に向けた高用量製剤として開発され、本日の発売に至りました。

これまで、トルリシティ0.75mgは、優れた血糖降下作用を示す2型糖尿病治療薬として、特徴的なデバイスの使用感も含めて広くその価値が認められ、使用されてきました。一方、一部の2型糖尿病のある人においては、トルリシティ0.75mgでは十分な血糖管理ができず、治療の強化が求められる状況がありました。そのような方々において、多剤併用による服薬アドヒアランスの低下が課題となる中、同一有効成分でより高い血糖降下作用が得られる選択肢を提供すべく、本製剤は開発されました。週1回の皮下投与という利便性を維持したまま、本製剤の発売によって、より多様な治療ニーズに対応できるラインアップが実現します。



トルリシティは、週1回投与のGLP-1受容体作動薬であり、食事摂取などにより体内の血糖値が上昇した際に、血糖値依存的にインスリン分泌を促進します。また、グルカゴン分泌抑制や胃排出遅延などを通じた多面的なアプローチによって、血糖降下作用を示します。さらに本剤は、トルリシティ0.75mg同様、注射針があらかじめ

取り付けられた1回使い切りの自動注入器「アテオス」によって提供されます。2型糖尿病のある人が注射針を取り扱うことも見ることもなく、3ステップで簡単に自己注射することが可能な構造となっています。

国内第3相臨床試験（GBGQ試験）において、トルリシティ1.5mgは0.75mgに比べて統計学的に有意なHbA1c低下効果を示しました（ -1.53% vs -1.25% , $p < 0.001$ ）。また、52週時点でのHbA1c $< 7.0\%$ 達成率は、1.5mg群で46.3%、0.75mg群で38.5%と、臨床的にも意義のある改善を示しました。体重変化や安全性プロファイルは両群で同程度であり、有害事象発現率はそれぞれ76.5%、73.3%で許容範囲内と評価されています。

日本イーライリリーの営業本部長 兼 ダイアベティス・オベシティ・心・腎領域事業本部 事業本部長の小嶋 毅彦は次のように述べています。「2型糖尿病のある方にとって、血糖管理はとても繊細な作業であり、日々の治療継続は負担のあるものです。トルリシティ1.5mgは、そのような2型糖尿病のある方の負担を少しでも軽減し、より良い血糖管理を実現していただくために開発されました。本剤を通して、より多くの2型糖尿病のある方々が、より健やかで充実した毎日を送れるよう、私たちは願っています」

日本イーライリリーは今後も引き続き、2型糖尿病のある人のより豊かな人生のため、幅広い治療選択肢を提供し、貢献してまいります。

以上

<製品概要>

販売名	トルリシティ®皮下注1.5mg アテオス®
一般名	デュラグルチド（遺伝子組換え）
効能又は効果	2型糖尿病
用法及び用量	通常、成人には週1回、皮下注射により1.5mgを投与する。
製造販売承認日	2024年6月24日
薬価収載日	2025年5月21日
発売日	2025年7月30日
薬価	「トルリシティ®皮下注1.5mg アテオス®」1キット 5,498円
製造販売元	日本イーライリリー株式会社

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。日本の患者さんが健康で豊かな生活を送れるよう、日本で50年にわたり最先端の科学に思いやりを融合させ、世界水準の革新的な医薬品を開発し提供してきました。現在、がん、糖尿病、アルツハイマー病などの中枢神経系疾患や自己免疫疾患など、幅広い領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.lilly.com/jp>